

## 和歌山県指定天然記念物・キイシモツケの群生地を目指して



和歌山県 43期 川本 太一

整復科を卒業して20年以上の歳月がながれた。祖父、父、私と親子三代にわたり行岡保健衛生学園の卒業生ということもあり、行岡会に対する気持ちは私の中では非常に大きい。同窓会誌への寄稿依頼を受けた時、どのような内容が良いのか考えたが、行岡会の先輩から朗らかな事柄が良いとアドバイスを頂いたので和歌山県指定天然記念物にまつわるエピソードを紹介します。

娘に紀伊下野（キイシモツケ）について尋ねられました。学校の授業で郷土史を習った様子。自分の目で本物を見たいと言う。キイシモツケは和歌山県指定天然記念物。限定された山頂のみに咲くバラ科の植物で持ち帰ることは不可能。子供と一緒に山頂を目指すことも考えたが険しい山道は危険を伴うため不可能に近い。せめて写真だけでも娘に見せてあげたいと思い、和歌山平野に位置する紀州富士を目指し登山を決行した。

豊かな紀州の大自然。山の息吹を体を感じながら、古人の足跡を辿り険しい山道をただ一人ひたすらに山頂を目指した。不自由のない生活に慣れると、自分自身が当たり前と思っていたことが、決して当たり前なことでは無いということに気付く。山頂近くの明神岩から紀ノ川平野を望むと眼下に絶景が広がる。力を振り絞り、ようやく山頂へ。キイシモツケの群生が白い花を咲かせている。山頂で撮影した写真に込めた私の想い。笑顔と共に届けることが出来ました。

関西百名山の一つでもある龍門山（標高755m・和歌山県紀の川市）は、古くから和歌山平野に位置する名峰として知られています。『紀伊名所図会』によれば、龍門山を和歌山市から見ると、その形が富士に似ているので紀州富士といわれ、和歌山港に来る舟はこの山を目的にしたことや、山頂からの展望は広大無辺だとも記されています。険しい山道ですが、頂上からの眺めは素晴らしく、遠く淡路島まで一望できます。山頂までには3つのコースが整備され、楠木正成が一時こもったといわれる『風穴』や『明神岩』、県天然記念物の『磁石岩』などがあり見どころも多くなります。また、5月下旬～6月上旬になると、山頂周辺では和歌山県指定天然記念物のキイシモツケの群生を見ることができます。これからの時期、皆様も訪れてみては如何でしょうか。



◎大阪方面から「JR天王寺駅」→JR阪和線・特急で38分→「JR和歌山駅」→JR和歌山線・30分→「JR粉河駅」より山頂まで徒歩で約150分。

## 卒業にあたり



卒業生 65期 古川 貴大

この度は私に同窓会会長賞をお贈り頂きまして誠にありがとうございました。私が表彰されるとは思ってもおりませんでしたので大変ありがたく、また恐縮いたしております。行岡に入学して同窓会のセミナーにも参加させて頂き、多くのことを学ばせて頂きましたことを同窓会の先生方に御礼申し上げます。先生方に教えて頂いたことを忘れずに今後に生かして行きたいと思っております。

私は入学して1年目は全く勉強しておらず成績も揮わずにありました。これではまずいと思い2年生からは心を入れ替えて真面目に一生懸命勉強いたしました。学校に残れる日は20時頃まで残って勉強し、夏休みなども登校して勉強したことは自分の人生の中でも非常に頑張った思い出です。そして3年生になってからは午前中の補講にも毎朝参加して勉強した結果、その努力が実りこのような賞を頂くことが出来たと思います。よくスポーツの世界でも「練習は嘘をつかない」と言われますが、正に「努力は嘘をつかない」ということを実感いたしました。

整復科を卒業いたしました。私はリハビリ関係の仕事に興味が出て参りましたのでしばらくは機能訓練指導員として働きたいと思っております。またリハビリテーションについてもっと深く知りたいと思っておりますので、出来れば理学療法士の資格も取りたいと思っております。今後も行岡で学んだことを生かして皆さんの役に立てる医療人となるべく頑張ってお参ります。



森澤同窓会会長とともに

## 学校関係行事報告

### 《大阪学術大会にて発表》

平成29年8月20日(日)シティプラザ大阪にて日本柔道整復師会「第11回大阪学術大会」が開催され、本校から出雲洋人君がポスター発表をさせて頂きました。非常に落ち着いて発表し、会場からの質問にも的確に答えていて頼もしく感じました。これからの活躍が楽しみです。



出雲洋人君

### 《近畿学術大会にて発表》

平成29年10月1日(日)和歌山県民文化会館にて日本柔道整復師会「第42回近畿学術大会 和歌山大会」が開催され、下浦健太郎君と松岡奨太君がポスター発表をさせて頂きました。2人共に堂々と自信にあふれた態度で素晴らしい発表であったと思います。資格取得後も学術的な研鑽を忘れずに頑張ってくれるものと思います。



下浦健太郎君



松岡奨太君

## 《整復科・鍼灸科合同学術大会開催》

平成29年10月28日(土)大阪行岡医療大学の講堂にて第1回の鍼灸科との合同学術大会を開催致しました。開催するにあたり、曾和学園長先生に2科が積極的に交流することによりお互いの学生により良い影響が出るのご指導を頂き、開催することになりました。

学生達の反応を心配しておりましたが、各々の科がそれぞれの特色を出した素晴らしい発表をして、成功裏に終わることができました。特別講演は元パラリンピック車イスバスケット日本代表の根本慎志先生に「素敵に生きる」と題してご講演頂きました。また整復科からは出雲洋人君と松岡奨太君がオーラル発表、下浦健太郎君と田中法雄君がポスター発表をしました。



曾和融生学園長



講演された根本慎志先生



## (公社)全国柔道整復学校協会主催 第50回柔道大会 大会報告

平成29年8月9日(水)東京武道館において第50回全国柔道整復学校協会主催の全国柔道大会が行われました。毎年同窓会より応援頂いており、選手たちも一層頑張ってくれております。

本年度の戦績ですが、男子は2試合とも惜敗致しましたが、女子は1勝1敗でじゃんけんにかけて惜しくも決勝トーナメントには進めませんでした。全員よく頑張ってくれたと思います。



参加した代表選手たち

## 校内柔道大会開催

平成29年11月24日(金)大阪市修道館にて例年開催しております校内柔道大会を開催致しました。本校は柔道経験者が少ないにも拘らず毎年大変な盛り上がりを見せてくれます。

本年も白熱した熱戦が繰り広げられました。団体戦優勝は3年生で、個人戦優勝は3年生の岩崎正樹君、最優秀賞は1年生の高岡優君でした。柔道整復師にとって柔道は欠かすことの出来ない心のよりどころではないかと思いました。



表彰状を受け取る 65期 岩崎正樹君



試合後の記念撮影



表彰状を受け取る 67期 高岡優君

## 行岡会第1回臨床セミナー開催

平成29年9月9日(土)同窓会主催の第1回臨床セミナーを開催して頂きました。  
「私の失敗経験と包帯法」と題して広報委員長の藤井敦志先生にご講義頂きました。これから先に臨床へと進む学生達にとって大変参考になったことだと思います。



講義中の藤井敦志先生



膝の実技



包帯法の実技



## 行岡会第2回臨床セミナー開催

平成30年1月20日(土)第2回同窓会臨床セミナーを開催して頂きました。「肩関節下方脱臼について」と題して田中和明先生にご講義頂きました。圧倒的に前方脱臼が多い肩関節で下方脱臼はレアケースと言えますが、患者さんが来るかも知れず知識としては入れておかないといけないものだと思います。

加えて頸部のストレッチもお教え頂いて学生達も非常に喜んでおりました。また毎年恒例の医学骨模型の抽選会も行っており、幸運を手に入れた学生と共に只々感謝でございます。



講義中の田中和明先生



頭部の実技

